



MDP

2023 明治安田生命 J1 LEAGUE

2023明治安田生命J1リーグ第25節
@ 駅前不動産スタジアム

MATCHDAY PROGRAM
サガン鳥栖オフィシャルマッチデープログラム

2023 Season | VOL 16

Sagan

FW 32 進化を信じて。
Ayumu YOKOYAMA

08.26 [SAT]

19:00 KICK OFF
vs ガンバ大阪



© 2022 GAMBIA OSAKA CO., LTD.

横山歩夢にとって初めてとなるJ1の舞台。チームは敗れたが、開幕戦で途中出場を果たす上々のスタートを切った。しかし、J1で2試合目の出場となった第6節FC東京戦に試練が待っていた。この試合で左足を負傷した横山だったが、診断結果は左足第五中足骨骨折。全治までには3ヶ月を要する重傷だった。「サッカー人生でこれだけの長期離脱をすることが初めてだった」。ボールを蹴ることが当たり前だった日々が失われたが、横山は決して下を向かなかった。この期間を振り返り、「メンタル的に鍛えられた時間だった」と横山は振り返る。「サッカー選手としての在り方を見つめ直すことができたし、トレーニングでも筋力トレーニングや体のコアの部分を鍛えることに取り組んだ。そこはけがをしていなかったら取り組んでいなかったと思う」。できることが限られているからこそ、できることに最大限で取り組む。その成果は負傷から3ヶ月後に形となって表れた。

復帰戦となった第20節セレッソ大阪戦。81分からピッチに立った横山は試合終了直前、カウンターから長い距離を単独で運び、富樫敬真の決勝点呼び込むアシストを記録した。さらに天皇杯3回戦アッソ熊本戦でも加入後初得点を記録。その姿には試練の3ヶ月を乗り越えたたくまさが宿っていた。「自分の形にさえ持っていれば通用する自信は元々、持っていた。けがの3ヶ月でそれをさらに生かすための土台作りがある程度、できたと思う。以前よりも体のキレは上がっている」。筋力トレーニングによって当たり負けしない力強さを身につけ、体のコアを鍛えることで動きにはキレが増した。ドリブルという横山にとって最大の武器はサガン鳥栖にとっても確かな武器となった。「けががあって良かったと思えるようなシーズンにしたい」。サッカーができなかった3ヶ月があったからこそ、横山はどん欲だ。「絶対に結果を残さないといけない」。その思いの強さは残りのシーズン、ゴールで示してみせる。

matchday program presents

佐賀銀行 SAGIN Connect presents

佐賀銀行創業140周年・さぎんコネクスト設立
記念スペシャルマッチ